

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】平成 17 年 4 月 14 日 (2005.4.14)

【公表番号】特表 2004-510488 (P2004-510488A)
【公表日】平成 16 年 4 月 8 日 (2004.4.8)
【年通号数】公開・登録公報 2004-014
【出願番号】特願 2002-531928 (P2002-531928)
【国際特許分類第 7 版】
A 6 1 B 17/58
【F I】
A 6 1 B 17/58 3 1 0

【手続補正書】
【提出日】平成 15 年 6 月 3 日 (2003.6.3)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

患者の脊椎骨または骨盤骨に対する埋め込み装置であって、前記装置は、埋め込まれた場合、骨内部でのぐらつきや、骨からの引き抜きにたいして抵抗力があり、患者の脊椎骨または骨盤骨に向き合う第 1 面を有する台であって、脊椎固定インプラントに接続するための構造を含む台；および、前記台の回転の際、骨の中に埋め込まれる少なくとも 1 本の螺旋スパイクであって、前記少なくとも 1 本の螺旋スパイクは、前記台から接線方向に突出し、長軸方向に伸び、前記少なくとも 1 本の螺旋スパイクは、遠位端において前記台が回転すると骨の中に侵入する先端部、近位端において前記台に接続される接合部、および、前記接合部と前記先端部との間において中間部を有する螺旋スパイク；を含むことを特徴とする装置。

【請求項 2】
前記長軸の周囲に延び、近位端が互いに 180° 隔てられている一対の螺旋スパイクを含むことを特徴とする、請求項 1 の装置。

【請求項 3】
前記長軸の周囲に延び、近位端が互いに 120° 隔てられている 3 本の螺旋スパイクを含むことを特徴とする、請求項 1 の装置。